

h!story

歴史が息づくまち 須恵町

平安時代に優美な仏教文化が花開き、
建正寺には最澄作といわれる十一面観音立像が鎮座。
江戸時代に須恵焼が誕生し、明治～昭和初期には、
石炭の町として日本の近代化を支えました。
さらに昭和20年代までは、
高名な眼科のもとに全国各地から患者が訪れました。
祖先が紡いだ歴史は、須恵町の財産そのもの。
次代に語り継ぎたい悠久のロマンがそこにあります。

